



もんま 門馬 まりえ 議員

健康づくり

具体的な取り組みは

町長／すべての世代で町民と共に

門馬

ひろの秋まつりで、町長が「脱お達者度ワースト1・脱メタボ」を宣言しましたが、今後の具体的な取り組みについて伺います。

町長

赤ちゃん・子どもから働き盛り世代、高齢者に至るまで、ライフステージを通じた健康づくりを推進するため、「食育」の推進、健康に関する講演会の実施、健康増進事業の実施などに取り組み、町民の皆さんと共に、「福祉のまちづくり」《脱お達者度ワースト1・脱メタボ》に取り組んでいきます。

メタボってなに？

メタボリックシンドロームとは、内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態のことです。単に腹部が大ききだけではメタボリックシンドロームにあてはまりません。

日本ではウエスト周囲径（おへその高さの腹囲）が男性85cm・女性90cm以上で、かつ血圧・血糖・脂質の3つのうち2つ以上が基準値から外れると「メタボリックシンドローム」と診断されます。

右の3項目のうち2項目以上

ウエスト周囲径
男性：85cm以上
女性：90cm以上

健康まつりの掲示物

ワクチン

集団接種を選択した理由は

町長／接種予約の煩雑さを解消

門馬

①3回目のコロナワクチン接種について、個別接種から集団接種を選択した理由を伺います。

町長

①接種予約の煩雑さ解消とスピード感をもったワクチン接種体制を図り、高齢者等の住民の方を対象に、原則、集団接種の方式により令和4年2月から実施します。

②国・県と連携し、ワクチンの確保に取り組み3回目のワクチン接種を確実に履行します。引き続き、3密の回避、マスク着用などの感染症対策の徹底などの広報活動に取り組めます。

教育施設

子どもを守る取り組みは

町長／マニュアル作成し訓練実施

遠藤

①当町の教育施設は、開放的で子どもたちがのびのび学べる教育環境が整った施設である一方、不審者が容易に侵入できる敷地もあると考えています。小中学校の危機管理マニュアルの整備状況を伺います。

②これまでの不審者対応訓練の計画と実績を伺います。

③この園への男性職員配置についてどのように考えていますか。

教育長

①小学校、中学校ともに「危機管理マニュアル」を作成し、冊子にして全職員に配付しています。

この中に「不審者の侵入等緊急時の対応マニュアル」を整備し、不審者対応について共通理解を図っています。「危機管理マニュアル」の内容については、年度当初に全職員で確認し、年度ごとに見直しをすべき点の有無について確認しています。

町長

②小学校では不審者から身を守るために必要なことを理解することを目的に、中学校では不審者侵入時の避難の方法を理解することを目的に、毎年5月から6月の間に1回、双葉警察署の協力を得て実施しています。

これからも引き続き訓練を行い、発達の実情に応じて児童生徒が緊急時の対処の仕方を身につけられるよう取り組んでいきます。

③この園内の職員は、給食調理員を含め18人体制となっております。職員は1人です。

「広野こども園防犯マニュアル」を作成し、職員の役割分担を明確にし、管理職の日々の往来により、園児の避難や、開園時において、園内に外部の人間が容易に立ち入らないよう、園児の登降園時以外、園庭の2つの門と正面玄関の施錠を実施して、安全確保に取り組んでいます。

こども園への男性職員の配置については、職員採用にあたり男女問わず募集しており、現況の確認をして検討していきます。



えんどう ひろし 遠藤 浩 議員



教育の丘